

AG5

補習授業校情報交換会 #9

日本語で本を読ませる

各地の開始時刻

2020年7月5日(日)

USハワイ	4:00AM
US太平洋	7:00AM
US山岳部	8:00AM
US中部	9:00AM
US東部	10:00AM
英国等 (西ヨーロッパ)	3:00PM
仏独等 (中央ヨーロッパ)	4:00PM
タイ等	9:00PM
中国等	10:00PM
日本	11:00PM



・マイクのミュートを解除して
お話しください。

<画面の設定>

右上/左上のボタンや画面スワイプで切り替わります。



スピーカー・ビュー

話している人が大きく見えます。



ギャラリー・ビュー

多くの参加者の表情が見えます。

出席者所属校

アルザス

イスタンブール

ウェストバージニア

エドモントン

オースチン

オハイオ

オマハ

カールスルーエ

カルガリー

カンザスシティ

クリーブランド

グリーンビル

コロンバス

サウスカロライナ

シュツットガルト

ジュネーブ

シンシナティ

ダラス

ディジョン

デンバー

ニューオリンズ

ニューポートニュース

ハイデルベルク

ビエンチャン

ピッツバーグ

プノンペン日本人学校

ベルリン中央学園

ホーチミン

ポートオブサクラメント

北東イングランド

ミネアポリス

ミュンヘン

ミラノ

モンペリエ

ユタ

ヨーテボリ

リッチモンド

ロチェスター

ワシントン

本日の予定

1. 全体会 15-20分
報告・質疑
2. グループセッション 20-25分
情報・意見交換（司会）
グループ1（カルガリー 林）
グループ2（クリーブランド 合津）
グループ3（ニューオリンズ 杉山）
グループ4（イスタンブール 吉田）
3. 全体会 15-20分
グループからの報告など

◆ これからの情報交換会の予定

- #10 7月20日（月）「低学年の算数」（#9と同時刻）
#11 8月2日（日）3日（月）「もっと聞きたい。幼稚園、どうしてますか」
（日）ハワイ10:00/EST16:00/独仏等22:00/（月）東京5:00 NZ8:00

リクエスト等は、 nsassaykhm@me.com 佐々（海外子女教育振興財団）まで。

◆ 保護者のご参加について

前回までは保護者のご参加は役員等に限らせていただいていたおりましたが、今回からどなたにも参加していただけるようにいたします。もし、参加ご希望の方がおられましたら、お伝えください。

◆ 録画について

スタッフの反省材料とするため、ミーティングを録画をさせていただいておりますが、それ以外の目的でお見せすることはいたしません。思わず言ってしまったことで後で心配になるようなことがないように、リラックスして発言していただくためですので、ご理解をお願いいたします。AG5で実施する授業研究会等のイベントでは、一定期間録画を視聴していただける場合もあります。

◆ ごらんください。

AG5補習授業校情報交換会資料 <https://www.ag-5.jp/post/detail/13>

AG5ウェブサイト <https://www.ag-5.jp>

補習校教員交流Facebook <https://www.facebook.com/groups/1664125650300837/>

海外子女教育振興財団（JOES） <https://www.joes.or.jp>

◆ 出席者と連絡を取りたいとき

・ご希望をお知らせください。相手の方の許可がいただければ、メールアドレスをお知らせします。



ここが聞きたい！

・今年度は、初めての小学3年生の担任です。小学3年生は7人です。

4月から、コロナウイルスの流行で、ずっとZoomによるオンライン授業をやってきましたが、まだ読み聞かせにつきましては、教科書を読む程度しかできておりません。

どんな本を選んでどんな方法で読み聞かせをされているのか知りたいです。

また、普通教室での読み聞かせとオンライン授業での読み聞かせの共通点や違いも知りたいです。

・補習校として図書館を充実させたいと考えていますが、助成金のみならず書籍を寄贈して下さるような企業様をご存知でしたら情報を頂けると幸いです。また、現在のコロナ禍で補習校の図書館を在籍家族へ開放できない為、当校ではデジタル本を無料提供して下さっているサイト等を保護者へお知らせしていますが、他の補習校の皆様はどのようにご対応されているかご意見を伺えればと思います。

・機会がありましたら他の補習校や幼稚園の、日本語の本をオンライン授業で使用する際の著作権問題についてお話を伺ってみたいと思います。


・ルビ付きの大人向け（電子）書籍の情報が知りたいです。マンガにはルビがふってありますが、普通の本にはルビがないので、漢字が苦手だと読む本が青い鳥文庫レベルから抜けられないのがもったいないと常々思っています。

・現地生まれ育ちの子供達(小2と小5)に小さい頃は日本語の本の読み聞かせをしていましたが、小学生になり字も読めるようになった現在、自発的に読むのは必ず現地語の本で、日本語の漫画を与えたりと色々やってはみましたが、うまくいかず半分諦めかけております。

何かよいアドバイスをいただけたら幸いです。




各校から

二  ジュネーブ *****


<特別資料> ジュネーブ日本語補習学校

新型コロナウイルス感染症リスクアセスメント・フォローアップシート

<https://www.ag-5.jp/cms/ag5/common/pdf/theme4/0625Genevariskaccessment.pdf>

 ビエンチャン *****

日本の本は、ZenMarketゼンマーケットという世界中の通信販売の店から、300円という安い手数料のネットを通して購入しております。海外の在外施設でも、海外の個人宅でも配達してくれますので、便利です。海外の本も同様です。（小川幸宣）

 イスタンブール *****

子供たちが本を読まない理由として、「手に入らない」ということを考慮しなければ（イスタンブール補習授業校には日本人学校と共有の図書館がございます）

- ①漢字が読めない
 - ②語彙がむずかしい、（昔風の言い方・方言なども理解できない）
- があげられるかと思います。

それで、去年私が実施したことは、日本語学習者向けにレベル別にリライトされた本を読ませることでした。

たまたま手元にいくつかのシリーズがありましたのでクラス内（小4）で希望者に貸し出したら全員が借りて読み、その後、クラス内でも漢字が読めず学習参加度も低く読書とはかなり距離がある生徒が「先生、こないだの読んで面白かったからほかのも読む」と貸し出しを希望しました。

漢字や語彙のハードルをさげてやることで読書してもらい、また、日本語教育界にある「ルビがふってある漢字を何度か読めばその漢字が読めるようになる」というセオリーから、読みながら気づかないうちに漢字を学習する、ということも、次の読書につながるように思います。

もしも何らかの形でどなたかの参考になるようであれば幸いです。

貸し出した本のシリーズはこちら（アスク出版）

<https://www.ask-books.com/jp/tadoku/>
pdf で配布しているものがこちら（NPO多言語多読）

<https://kansai.jpf.go.jp/clip/yomyom/>
類似品の紹介がこちらになります（国際交流基金・にほんごeな）

https://nihongo-e-na.com/jpn/hint/id874_1.html

イスタンブール補習授業校 講師 橋本実子 （はしもと じつこ）

🍀 シンシナティ *****

海外子女作文コンクール・読書感想文・漢字検定および生徒の読書活動の推進にかかわる校務を4年ほど続けておりますが、年々、日本語の本を読む生徒が減ってきているように感じております。補習校の図書室に、課題図書を含め、毎年蔵書が増えておりますが、中学生であっても生徒が借りている本は、漫画本（歴史を題材にした本が男子生徒には人気、女子は恋愛もの）が多いようです。

夏休みの宿題として、中1の国語の教科書にある読書案内の作成を、中2の生徒にも課して、少なくとも1冊は夏休み中に本を読ませる等しております。つくってもらった読書案内は、年度ごとにまとめて、夏休み前の数週間、興味のある本を読んでもらえたら...と生徒に閲覧してもらっています。今年度は、このような活動ができず、残念です。

読書をしている生徒は、漢字の読み書きが良く出来ます。

漢字にはまっている生徒は、魚への漢字、外国語を漢字で書く等、自分たちでいろいろ調べて学習をして、語彙力、漢字力を高めています。漢字に興味を持ってもらう一つ的手段としても、読書は有効だと感じております。

また、読書をする生徒は、単に読解力が優れているだけでなく、語彙力（対義語、類義語、多義語などを含め）や文章の表現技法（比喩、対句、体言止め、倒置など）を、作文（シンシナティ補習校では、毎年、全校生徒に作文を課し、文集「道」を作成しております）に活かすなど、作文力も高いです。

生徒の学齢だけでなく、日本語力、精神年齢に合った適正、かつ良書をたくさん読んで欲しいと考えております。中1の担任を5年、中2の担任を2年受け持ち、中3の数学や社会（公民）も教えておりますが、中学生は、ちょうど精神の成長期にあたり、個々の生徒の心の在り方に大きな幅があるように感じております。

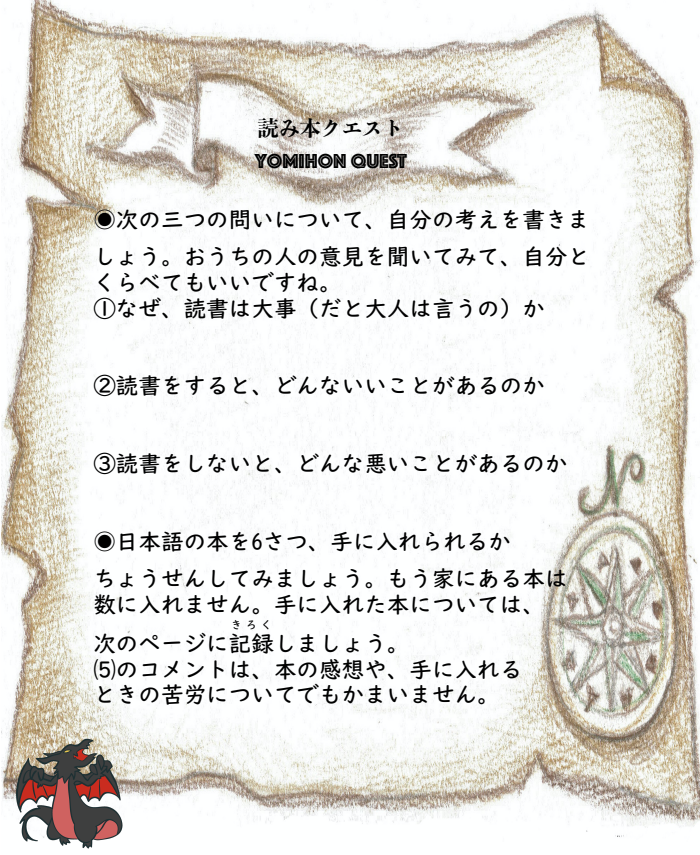
ご家庭の教育方針による差だけでなく、永住と駐在の差（生活環境の変化の有無）、アメリカで住んでいる地域の差など、生徒の心に与える影響は様々です。週1回の補習校ですので、生徒を見守ることしかできませんが、自分の学生時代を顧みて、読書がその一助となってくれば良いと願っています。

（シンシナティ補習校 福永玲子）

🍀 クリーブランド *****

オンライン授業では、当初は家にある本を読んでいたのですが、画面を通してでは見えにく事と、私も読みにくいため、パワーポイントやGoogleスライドに移して読み聞かせをするようになりました。そのため、読み聞かせの本は、Youtubeなどをページごとにスクリーンショットで撮ったものを読むことができるようになり、家にはない本も読めるようになりました。ただし、そのやり方が夏休み中の読書として、ご家庭に勧められるかは疑問です。

（クリーブランド日本語補習校 年長担任 原田恵理）



**読み本クエスト
YOMIHON QUEST**


●次の三つの問いについて、自分の考えを書きましょう。おうちの人の意見を聞いてみて、自分とくらべてもいいですね。

①なぜ、読書は大事（だと大人は言うの）か

②読書をする、と、どんないいことがあるのか

③読書をしないと、どんな悪いことがあるのか

●日本語の本を6さつ、手に入れられるか
 ちょうせんしてみましよう。もう家にある本は数に入れません。手に入れた本については、
 次のページに記録しましよう。
 (5)のコメントは、本の感想や、手に入れるときの苦労についてでもかまいません。



読み本クエスト

二〇二〇年度 四年生夏休みの宿題
四年 組 番 氏名

◆夏休みは時間がたっぷりあるので、ぜひ本を読んでほしいと思います。
 ◆でも、今年は補習校図書室で本が借りられなかったり、日本に帰国できなかったり、本を手に入れるのが、ちょっとむずかしいです。

◆だからこそ、この機会に日本語の本をどうやってたら手に入れられるのか、おうちの人と力を合わせて「読み本クエスト」にちょうせんしてください。


(1)本の題名

(2)本の作者

(3)手に入れた方法

(4)あらすじ/内よう

(5)コメント



(1)本の題名

(2)本の作者

(3)手に入れた方法

(4)あらすじ/内よう

(5)コメント



(1)本の題名

(2)本の作者

(3)手に入れた方法

(4)あらすじ/内よう

(5)コメント



読み本クエスト 本のコレクション 名前

(1)本の題名

(2)本の作者

(3)手に入れた方法

(4)あらすじ/内よう

(5)コメント



(1)本の題名

(2)本の作者

(3)手に入れた方法

(4)あらすじ/内よう

(5)コメント



(1)本の題名

(2)本の作者

(3)手に入れた方法

(4)あらすじ/内よう

(5)コメント



🍀 オハイオ *****

1. まんがの扱いについて

子どもが小さかった時は、漫画でもいいから日本語に触れてほしいという、上級生のお子さんを持つ保護者のコメントを聞いて、漫画は読書ではない、と心の中で思っていました。自分の子が漫画を読む年頃になって、その考え方は変わっていきました。なぜなら、良質な漫画もたくさんあるからです。伝記や歴史が漫画になったシリーズ、科学漫画というジャンルは漫画とはいえよくできていると思いました。

漫画の良さがわかると、親が読んでほしい漫画vs子どもが読みたい漫画ということで、バランスを考えなければいけない、と思うようになりました。今のところ買うのは親なので、コントロールは容易ですが、今後はどうなるのか楽しみなような、怖いような、複雑な気持ちです。ほかの家庭はこのバランスをどうされているのか、興味があります。

2. きっかけづくり

普段から、子どもとの会話の中で、どのようなジャンルの本が好きなのか、ある程度把握しているのは大事だと思いました。特に、現地校から借りてくる本は、fictional non-fiction というか、I surviveや Magic Tree houseのシリーズをよく借りてくるので、日本語でも、そういう系統の本を買ってあげよう、と参考にしました。（朝日新聞出版から出ているサバイバルシリーズを購入したら夢中で読んでいました）

ある日、ママが子どもの頃、一番好きだった本はなに？と聞かれました。その時思いだした、ジュール・ベルヌの二年間の休暇という本を、あらすじも交えて教えてあげました。そして、「読んでみる？」と聞いたところ、興味を示したので、完訳ではなく、子どもむけに簡単に訳してある学研プラスから出版されている10歳までに読みたいシリーズの十五少年漂流記を買いました。

もう一つは、主人公が読者と共感しやすい話というのもきっかけとしてはよかったかもしれません。夏目漱石の『ぼっちゃん』の主人公が、うちの子の性格に似ている部分あるなーと思ったので、「このお話の主人公（メインキャラクターと英訳する必要ありでした）って、なんかあなたに似てると思うよ。」と言ったら、興味がわいて読みたくなったようで、原本ではなく、子供向けに書き直しされたほうの本（10歳までに読みたいシリーズです）を読み始めてくれました。

これは意外でしたが、漫画のコナンに影響されて、探偵ものに興味が出てきたのか、シャーロックホームズが読みたいと言い出しました。日本語訳全巻持っている友達からお借りして、見せたら難しすぎるというので、原作の英語のほうを購入して読ませようと思いました。。しかしながら、英語のほうも難しいと感じたようで、仕方がないので、また、子ども向けに訳されているシ

リーズ（再び、10歳までに読みたいシリーズ）を買って読ませますと、英語の原作のほうも読むようになりました。

3. 親の読書に対する態度


親も読書家であると、子どももかなり影響をけると思います。うちの両親は高卒でしたがかなり読書家でした。私も旦那も本の虫で、娘も現地校では本の虫といわれています。私は、読書してほしいというよりも、本の楽しさに気づいてほしいという気持ちが強いです。読書体験で想像の翼を広げることの楽しさ、新しい世界観に触れ、発見することの興奮、疑似体験を通して自分の成長の糧にするという過程を味合わせてあげたいと思っています。

4. たくさんの本に触れる工夫

上の子が2歳になってから三年間ほど、福音館書店の月刊の絵本の購読をしていました。

補習校の図書館を利用できない期間は、近くに住む補習校の友達と交換図書館をしました。本の趣味が似ているお友達で、まだ読んだことのない本を読ませていただけるので大変ありがたかったです。

（後藤 豊実）

 ワシントン *****

以前、担任をしていた2年生の「スイミー」の単元で、BGMを作り、それをもとに寸劇風に音読する試みをしました。現在も、家庭学習で2年生のご家庭で使っていただいています。去年から担任をしている3年生では、「ちーちゃんのかげおくり」のBGMを作りました。「スイミー」BGMリンクは以下の通りです。音楽は著作権のないものを使っています。

<https://vimeo.com/218476076>

ワシントン日本語補習校
3年担任 皆川かおる

🍀カンザスシティ *****

日本語で本を読ませる

カンザスシティ補習授業校
小学1年担任 浜田 佐知

カンザスシティ補習授業校が、学校として取り組んできたことの一つに、生徒が朝の会で、好きな本を紹介するということがあります。本年度になってから、授業がオンラインになり、みんなで授業の前に集まる朝の会はなくなりましたが、代わりに授業後、帰りの会を11時半から30分間zoomで開き、そこでこの取り組みは続けられています。昨年度の4月に中学3年生から始めて、毎週1人ずつ発表し、現在小学2年生まで来ています。

また、オンライン授業になる前は、図書室から30冊ほどの本を選んで廊下に展示し、補習校に登校すると、まず本が目に入る、帰るときにも目に入る、送り迎えをする保護者の目にも入る、というふうにしていました。

現在は、授業をオンラインでしているため、図書室を利用することができないので、青空文庫のサイト

<http://yozora.main.jp/9/1/ndck913.html>

(青空文庫→児童書トップ→文学→日本文学→小説物語。上のページで作者別の検索も可)

やカンザス大学の児童書のサイト

<https://guides.lib.ku.edu/c.php?g=95189&p=1192501>

を保護者に紹介しています。

以上が、学校全体としての取り組みです。

それ以外の取り組みは、各担任に任されています。

小1の担任としての私の取り組みは、まずは、読書の大前提として、日々の教科書の音読をさせることです。教科書が読めないのに、読書に取り組むことは、まず不可能だからです。そのために「音読・宿題・読書カード」という1枚のカードを毎週配布し、毎日教科書を音読して、スラスラと読めたら◎、元気よく読めたら○、頑張ろうという場合は△を、曜日の下に書き込んでもらっています。このカードを授業前に写真メールで提出してもらい、1週間に5日以上読んだ場合は、「音読大賞」と称して、土曜日の授業の始まりに名前を発表しています。ほとんど毎週全員が音読大賞です。

読書に関しては、1週間の間に読んだ本を書く欄を同じ紙の下に設けています。読み聞かせをしてもらった時は、通常の黒い筆記用具で題名を書き、自分で読んだ場合は、赤で題名を書き込む

ようにしています。1冊でも自分で読んでくれば、「読書大賞」として、「音読大賞」と並んで名前を発表します。

夏休み中は、毎日何かを読むと、カレンダーになっている「夏休み生活表」のその日の「読み」の四角（四角は、読み・書き・算数の3つ）の中にマルを書き、上に何を讀んだかを書き込む宿題を出しています。冬休みも同様にしています。夏休み生活表はこちらの日付記入タイプのものを使用し、手書きで日にちを書き込んでスキャンして送付しています。

<https://happyilac.net/yousi-seikatsu.html>

学校の図書室で借りられないので、国語教科書のほか「あたらしい せいかつ」「どうとく」「ずがこうさく」「おんがく」の教科書を読むこと、YouTubeの数ある絵本の読み聞かせの中から、本のページだけが大写しになって、字が読めるものを観た後、音声を消してポーズにして、1ページずつ読んでいくこと、「おんがく」の教科書は読んだ後YouTubeで聞いて、一緒に歌ってみるなどを提案しています。

また、後期の単元「むかしばなしが いっぱい」からは、例年毎週「おはなしカード」を書いてくることを宿題にしています。これは、登場人物や、好きだったところを書いてくるもので、保護者に読み聞かせてもらったものも良しとしています。毎週1冊の本を読み、その本について書かなくてはいけないので、負担になるかとも思ったのですが、私の息子と娘が小学生の時、現地校では、低学年では、毎日1冊の本を持ち帰らせ、2回読んでくるというのを宿題にしていました。それを考えると、1週間に1冊本を読むのは、日本語で読書をする習慣をつけるのには、低学年では適切な量かと思います。1年から持ち上がって2年の担任をしたこともあります。これは、2年の終わりまでずっと続けました。読書好きの生徒は、何冊も読んだ中から1冊選んで書いていましたが、読書好きでなくても、週に1冊は読む、または読んでもらうということを宿題にすることで、コンスタントに続けていくことができました。保護者の中でも特に駐在で日本に帰らなくてはいけない家族の保護者からは、読む力だけではなく、書く力もついたらと好評でした。学年が上に行くと、1週間で1冊は難しいかと思いますが、その週読んだページに関して、感想を書くような形でも良いのではないかと思います。小2の時点でも、1週間に1冊終えられなくても、読んだページと読んだところで好きだったところを書けば良いことにしていました。しかし、一旦読み始めると、最後まで読みたくなるようで、みんな最後まで読んできていました。また、私は、毎週生徒の書いた「おはなしカード」を家に持ち帰り、赤ペンでコメントを書いて返していました。それも生徒は楽しみにしていたと保護者から聞きました。

いちねんせい おんどく・しゅくだい・どくしょカード

6/27 ていしゅつ

なまえ： _____

しゅくだい	ど	にち	げつ	か	すい	もく	きん
わすうじで10までかぞえる。 まいにち、こよみで、そのひのひづけをよむ。「○がつ○にち○ようび」							
おんどく P82~85、96•97 まいにち2かい ◎すらすらとよめた ○げんきよくよめた △がんばろう							
うつしまるくん P20•21							
「はをへ」をつかって ぶんをつくろう							
こくごのがくしゅう P10•11							
テストべんきょう： きやきゆきよ・しやしゅしょ・ちやちゅちよ							
えにつき 1まい							
さんすうテストべんきょう：ひきざん							
けいさんドリル 22							

しゅくだいが おわったら、おうちのひとに しゅくだいに まるを つけてもらい、このひょうに シールをはってもらおう。

	よんだ ほんの なまえ (じぶんで よんだら あかで かこう)	すき？
ど		
にち		
げつ		
か		
すい		
もく		
きん		

なつやすみ せいかつひよう

なまえ _____

よむ
 ・ひらがな、かたかなが
 ぜんぶよめる。
 ・おんどくをまいにちする。

かく
 ・ただしいかきじゆんで
 ひらがながぜんぶかける。
 ・につきをかく。ししやをする。

かぞえる。けいさんする。
 ・120までかぞえられる。よめる。
 ・10までのたしざんと
 ひきざんが できる。

にちようび	げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび
$\frac{6}{28}$	$\frac{6}{29}$	$\frac{6}{30}$	$\frac{7}{1}$	$\frac{7}{2}$	$\frac{7}{3}$	$\frac{7}{4}$
$\frac{7}{5}$	$\frac{7}{6}$	$\frac{7}{7}$	$\frac{7}{8}$	$\frac{7}{9}$	$\frac{7}{10}$	$\frac{7}{11}$
$\frac{7}{12}$	$\frac{7}{13}$	$\frac{7}{14}$	$\frac{7}{15}$	$\frac{7}{16}$	$\frac{7}{17}$	$\frac{7}{18}$
$\frac{7}{19}$	$\frac{7}{20}$	$\frac{7}{21}$	$\frac{7}{22}$	$\frac{7}{23}$	$\frac{7}{24}$	$\frac{7}{25}$
$\frac{7}{26}$	$\frac{7}{27}$	$\frac{7}{28}$	$\frac{7}{29}$	$\frac{7}{30}$	$\frac{7}{31}$	$\frac{8}{1}$
$\frac{8}{2}$	$\frac{8}{3}$	$\frac{8}{4}$	$\frac{8}{5}$	$\frac{8}{6}$	$\frac{8}{7}$	$\frac{6}{27}$

おうちから:

